令和7年度

要寬

運営の基本方針

本県生涯学習及び社会教育推進の中枢機関として、県民の生涯にわたる学習活動を支援するとともに、関係職員の資質向上を図り、市町村及び関係機関・団体との連携・協働による『「学び」と「活動」の橋渡し』に努め、持続可能な地域づくりの実現に寄与する。

センターの3機能

研修・人材育成

シンクタンク

学習活動

・情報発信

【事業推進テーマ】

~3機能のネットワーク化による地域及び現代的課題解決へのアプローチ~

秋田県生涯学習センター

Akita Prefectural Lifelong Learning Center

令和7年度 生涯学習センター年間行事予定

	4 月		5 月		6 月			7 月		8 月			9 月				
1	火	所内会議(1)事業室会議(1) 新任者オリエンテーション	1	木		1	В		1	火		1	金		1	月	休館日
2	水		2	金		2	月	休館日	2	水		2	±	熟議ファ B3	2	火	
3	木		3	±	憲法記念日	3	火		3	木		3	日		3	水	
4	金		4	日	みどりの日	4	水		4	金		4	月	休館日	4	木	
5	±		5	月	こどもの日	5	木		5	±	地域取組 A2	5	火		5	金	
6	日		6	火	振替休日	6	金		6	日		6	水		6	±	障害生涯 C1 熟議ファ B4
7	月	休館日	7	水	休館日	7	±	防災 D 1	7	月	休館日	7	木		7	日	
8	火		8	木	新任職員等基礎研修 (限定公開開始)	8	日	133 = 1	8	火		8	金		8	月	休館日
9	水		9	金		9	月	休館日	9	水		9	±		9	火	
10	木	県生涯学習·社会教育関係職員会議①	10	±		10	火		10	木	家庭教育支援指導者 等研修②	10	日		10	水	
11	金		11	B		11	水		11	金		11	月	山の日	11	木	
12	±		12	月	休館日	12	木		12	±	防災 D2	12	火	休館日	12	金	
13	日		13	火		13	金		13	日		13	水		13	±	東大協力 E2
14	月	休館日	14	水		14	±		14	月	休館日	14	木		14	日	
15	火		15	木		15	В		15	火		15	金		15	月	敬老の日
16	水		16	金		16	月	休館日	16	水		16	±		16	火	休館日
17	木		17	±	地域取組 A 1	17	火		17	木		17	日		17	水	
18	金		18	В		18	水	地域学校協働活動推 進員·地域連携担当 教職員等研修①	18	金		18	月	休館日	18	木	
19	±		19	月	休館日	19	木		19	±	文学 F3 熟議ファ B2	19	火		19	金	
20	日		20	火		20	金		20	日		20	水		20	±	障害生涯 C2 防災 D3
21	月	休館日	21	水		21	±	文学 F2	21	月	海の日	21	木		21	日	
22	火	課·事務所等連絡会 議①	22	木		22	Н		22	火	休館日	22	金		22	月	休館日
23	水		23	金	事業室会議(3)	23	月	休館日	23	水	市町村·公民館等職 員専門研修①	23	±		23	火	秋分の日
24	木		24	±	文学 F 1	24	火		24	木	北海道・東北5道県 生涯学習センター等 研修交流会(秋田県)	24	日		24	水	
25	金	事業室会議(2)	25	日		25	水		25	金	北海道・東北5道県 生涯学習センター等 研修交流会(秋田県)	25	月	休館日	25	木	家庭教育支援指導者 等研修3
26	±		26	月	休館日	26	木	事業室会議(4)	26	±		26	火	事業室会議(6)	26	金	事業室会議(7)
27	日		27	火		27	金	生涯学習支援システ ム研修会②	27	日		27	水	市町村·公民館等職 員専門研修②	27	±	東大協力 E3
28	月	休館日	28	水		28	±	熟議ファ B 1	28	月	休館日	28	木		28	日	
29	火	昭和の日	29	木	家庭教育支援指導者 等研修①	29	日		29	火	事業室会議(5)	29	金		29	月	休館日
30	水		30	金	学校・家庭・地域連携協議会①、生涯学習支援システム研修会①	30	月	休館日	30	水		30	±	東大協力 E1	30	火	
			31	±	The second Control of				31	木		31	日				
_	_			_											-		

	10 月		11 月		12 月		1 月		2 月			3 月					
1	水	市町村·公民館等職 員専門研修③	1	±	障害生涯 C4 防災 D5	1	月	休館日	1	木	元日·休館日	1	日		1	В	
2	木		2	В		2	火		2	金	休館日	2	月	休館日	2	月	休館日
3	金		3	月	文化の日	3	水		3	±	休館日	3	火		3	火	
4	±	地域取組 A3 防災 D4	4	火	休館日	4	木		4	日	臨時休館日	4	水		4	水	
5	日		5	水		5	金		5	月	休館日	5	木		5	木	
6	月	休館日	6	木		6	±	障害生涯 C5	6	火		6	金	県生涯学習·社会教育関係職員会議②	6	金	
7	火		7	金	秋田県生涯学習·社 会教育研究大会	7	日		7	水		7	±		7	±	
8	水		8	±		8	月	休館日	8	木		8	日		8	日	
9	木		9	日		9	火		9	金		9	月	休館日	9	月	休館日
10	金		10	月	休館日	10	水		10	±		10	火		10	火	
11	±	東大協力 E4	11	火		11	木		11	日		11	水	建国記念の日	11	水	
12	日		12	水		12	金		12	月	成人の日	12	木		12	木	
13	月	スポーツの日	13	木		13	±		13	火	休館日	13	金		13	金	
14	火	休館日	14	金		14	日		14	水		14	±		14	±	
15	水		15	±	地域取組 A4	15	月	休館日	15	木		15	日		15	日	
16	木		16	日		16	火		16	金		16	月	休館日	16	月	休館日
17	金		17	月	休館日	17	水		17	±		17	火		17	火	
18	±	障害生涯 C3	18	火		18	木		18	日		18	水		18	水	
19	В		19	水		19	金		19	月	休館日	19	木		19	木	
20	月	休館日	20	木	家庭教育支援指導者等研修④	20	±		20	火		20	金		20	金	春分の日
21	火		21	金		21	B		21	水		21	±		21	±	
22	水		22	±		22	月	休館日	22	木		22	В		22	B	
23	木		23	日	勤労感謝の日	23	火		23	金	事業室会議(11)	23	月	天皇誕生日	23	月	休館日
24	金		24	月	振替休日	24	水		24	±		24	火	休館日	24	火	事業室会議(13) 所内会議(2)
25	±	東大協力 E5	25	火	休館日	25	木	事業室会議(10)	25	日		25	水		25	水	
26	В		26	水	事業室会議(9)	26	金		26	月	休館日	26	木	事業室会議(12)	26	木	
27	月	休館日	27	木		27	±		27	火		27	金		27	金	
28	火		28	金		28	日	臨時休館日	28	水		28	±		28	±	
29	水		29	±		29	月	休館日	29	木					29	日	
30	木		30	日		30	火	休館日	30	金	学校·家庭·地域連携 協議会②				30	月	休館日
31	金					31	水	休館日	31	±					31	火	

(1)調査研究の推進・拡充

県及び市町村生涯学習・社会教育の充実に資するため、現代的課題や地域課題の解決に向けた広域的、中・長期的な視野に立った調査研究を実施するとともに、その研究成果を生かした研修の企画や実施、成果の普及・啓発に努める。

「障害者の生涯学習」に関する調査研究(7年次)

障害の有無にかかわらず一緒に学ぶことができる学び場づくりを、市町村や特別支援学校、民間企業や障害者支援施設等と連携・協働し、モデルとなる実践を行うとともに、新たな学びのジャンルの開拓に努める。

社会教育状況調査

市町村の生涯学習・社会教育の現状を把握するとともに、基礎資料とするための調査を実施する。

『家庭教育に関する調査』の分析とまとめ

令和6年に実施した『家庭教育に関する調査』の結果を、子どもの年齢、校種等の項目で詳しく分析し、家庭教育支援指導者等研修や県庁出前講座等に活用するためにまとめる。

(2) 多様な主体との連携・協働

民間企業等との連携・協働

調査研究等に関する取組、各種研修等の企画・実施に際し、民間企業等とのコラボレーションにより内容の充実を図るとともに、取組の波及に努める。

大学との連携・協働

各種研修等の企画・実施に当たっては、これまでの取組の成果を生かし、秋田大学、日本赤十字 東北看護大学介護福祉短期大学部等との連携・協働を継続・強化する。

また、秋田大学教育文化学部及び教職大学院の授業(生涯学習・社会教育等)を通して、これからの社会教育人材の養成に寄与するとともに、当センターの調査研究及び研修等による学習成果の交流・還元の機会とする。

関係機関との連携・協働

国及び県機関、県立学校、市町村立学校等との連携・協働に努めるとともに、市町村及び関係団体との協働による実践研究に取り組む。

(3) 運営委員会の開催

当センターの適正な運営と円滑な事業の推進を図るため、学識経験者や生涯学習の実践者等の委員を選任し、年2回の委員会を開催する。



「持続可能な地域づくり」を目指す研修・支援の推進

(1)研修事業の推進

地域課題や現代的課題(障害者の生涯学習・防災等)の解決に迫る関係職員研修を充実させる。

生涯学習・社会教育関係者研修|

※会場はすべて生涯学習センター

【**年間研修テーマ**】「地域のつながりづくりを支える社会教育の在り方

~共生社会の実現を目指し、学び続ける人材の育成~」

□新任職員等基礎研修

「社会教育行政の役割について」 ※YouTube限定配信

5月8日(木)~

□第1回地域学校協働活動推進員・地域連携担当教職員等研修会

「学校が地域と協働するとは? |

6月18日(水)

□第1回市町村·公民館等職員専門研修

「学びのユニバーサルデザイン ~みんなでスポーツを楽しもう~」

7月23日(水)

□第2回市町村·公民館等職員専門研修

「防災を楽しく学ぼう」

8月27日(水)

□第3回市町村·公民館等職員専門研修

「障害理解に向けて ~障害者の生涯学習支援を考える~ |

10月1日(水)

家庭教育支援指導者等研修 ※会場はすべて生涯学習センター

【年間研修テーマ】「地域のつながりで支援の輪を広げ、保護者と子どもをサポートしよう|

□第1回「地域のつながりで家庭教育を支えようし

5月29日(木)

□第2回「保護者と子どもをサポートするために支援チームができることを考えよう」

7月10日(木)

□第3回「家庭での困り感や様々な課題に対応した家庭教育支援を進めよう」

9月25日(木)

□第4回「地域のつながりで家庭教育支援の輪を広げよう」

11月20日(木)

「秋田県生涯学習·社会教育研究大会」

※会場は生涯学習センター

11月7日(金)

(2) 市町村等の課題解決に向けた取組への支援

市町村、学校等の課題解決に向け、要望のあった市町村等に生涯学習センター職員が出向き、 市町村等の職員と協働・研究して課題解決に取り組む。

- ・「学校・家庭・地域連携総合推進事業 |にかかるオーダーメイド型社会教育主事派遣(7年次)の拡充
- ・「障害者の生涯学習支援モデル事業」にかかる障害者の生涯学習支援に関するオーダーメイド型社会 教育主事派遣(4年次)の拡充

(3) 障害者の生涯学習に取り組む生涯学習団体への支援

「障害者の生涯学習」の理念に則り、共生社会の実現に寄与することを目的に学習活動を展開 する団体及び個人に対し、その活動の場として「ツドウベース」を提供する。

対象となる活動としては「障害者の生涯学習」支援を内容とするもの、「障害者の生涯学習」につ いて学ぶことを目的としたもののほか、障害当事者・介助者の参加を積極的に受け入れる工夫 のあるものが相当する。

県民の生涯学習機会と学習情報発信の充実

(1)「障害者の生涯学習」のための活動スペースの活用

障害のあるなしにかかわらず集い、学ぶことができる場「ツドウベース」を生涯学習センター内に設置し、より多くの団体等の利用を促進する。

また、「あきたセカンドスクール推進事業」として、「障害のあるなしにかかわらず、みんなが楽しめるスポーツを体験しよう!【ボッチャ・卓球バレー・バドミントン・モルック】」というプログラムを設けて、小・中・高校、特別支援学校の「総合的な学習の時間(探究の時間)」、道徳、体育、家庭、福祉等の授業に対応する。

(2) 県民の生涯学習機会の充実

あきたスマートカレツジ

地域課題や現代的課題に迫るあきたスマートカレッジを充実させる。

【無料講座】

- □地域づくり分野
 - A 地域の取組学び講座〜挑戦と新たな価値の創出〜
 - B 熟議ファシリテーター講座~ 「熟議」をつくろう!~
- □現代的取組分野
 - **C** 障害者の生涯学習講座〜みんなで学びを楽しもう〜
 - D 防災講座~自助力と共助力を高める~

【有料講座】

- □教養分野
 - E 東大史料編纂所協力講座 景色の日本史~絵図·古写真から探る~
 - F 文学講座~戦後80年 戦後文学を通して平和を考える~

※詳細は、「**あきたスマートカレッジ学習案内**」参照

(3) 学習活動等の情報発信の充実

生涯学習情報紙の発行

「生涯学習センターだより |を年3回発行する。

生涯学習支援システム「まなびサポート秋田」の掲載情報の充実

県及び市町村等の生涯学習講座等の情報、人材バンク情報を検索できるWebサイト「まなびサポート秋田」を開設し、関連する情報を提供する。

(4)展示スペースの活用促進

学習の成果を紹介することで、県民の生涯学習の振興に資するため当センターの 1 階エントランスホールや地下ホールを展示場所として個人・団体に提供する。

(5) 学習相談の充実

「ブルーの窓口」にて学習相談に対応する。

(6) 県庁出前講座の実施

生涯学習のすすめ、生涯学習支援システム活用入門、インターネットの健全利用3講座を担当する。

(7)視聴覚教育の充実

視聴覚教材の市町村等への貸出及び県自作視聴覚教材コンクールを実施する。

施設利用促進

生涯学習施設としての機能を充実させるとともに、利用者の安全と利便性の向上を目指した施設運営に努める。

◆令和6年度の利用状況

	区	分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事	=	主催事業等	1,929	3,313	2,547	2,984	1,336	3,268	3,621	3,572	2,298	2,021	2,455	1,879	31,223
業	市	ール利用等	204	268	201	290	124	253	304	290	224	240	276	180	2,854
未		小計	2,133	3,581	2,748	3,274	1,460	3,521	3,925	3,862	2,522	2,261	2,731	2,059	34,077
	1	教育団体	326	832	660	772	146	451	619	413	250	151	62	166	4,848
貸		行政団体	20	100	0	0	35	0	0	0	20	0	20	20	215
館	号	その他	868	770	777	928	765	1,007	655	1,313	603	578	518	635	9,417
問	7	の他の団体	971	1,137	1,243	800	855	1,163	1,541	1,677	845	961	1,676	1,208	14,077
		貸館合計	2,185	2,839	2,680	2,500	1,801	2,621	2,815	3,403	1,718	1,690	2,276	2,029	28,557
施	設利	用人数 総計	4,318	6,420	5,428	5,774	3,261	6,142	6,740	7,265	4,240	3,951	5,007	4,088	62,634

◆沿 革

昭和	
52年 6月	秋田県生涯教育センター建設協議委員会発足
55年 3月	秋田県生涯教育センター落成
	秋田県生涯教育センター設置条例制定

4月 秋田県生涯教育センター開所 開所記念行事挙行

7月 「秋田県コミュニティ・カレッジ」開講(~H10.3)

10月 秋田県生涯教育推進10周年記念事業

平成

元年 4月 「秋田県生涯学習センター」へ名称変更

2年 9月 秋田県生涯学習フェスティバル 秋田の生涯学習20周年記念開催

6年 4月 秋田県生涯学習センター分館「ジョイナス」開所

8年 12月 生涯学習情報提供ネットワークシステム運用開始

10年 4月 「あきた県民カレッジ」開講(~H20.3)

11年 2月 秋田県生涯学習センター Webサイト開設

12年 4月 秋田県生涯学習支援システム

「生涯学習 Info Akita I 開設

18年 4月 分館「ジョイナス」の管理を委託

20年 4月 「美の国力レッジ」開講 (~ H24.3)

21年 10月 秋田県生涯学習支援システム

「まなびサポート秋田」開設

22年 11月 秋田県生涯学習センター開所30周年記念式典開催

23年 4月 分館「ジョイナス」を県民文化政策課に移管

24年 4月 「美の国アクティブカレッジ」開講(~H27.3)

10月 「行動人Webサイト|開設

27年 4月 「あきたスマートカレッジ」開講(~現在)

令和

元年 7月 北海道・北東北4道県生涯学習センター等研修交流会開催

2年 11月 開所40周年記念秋田県生涯学習·社会教育研究大会開催

◆職員一覧

所		長	金	子		淳
副	所	長	淀	谷	誠	也

【総務チーム】

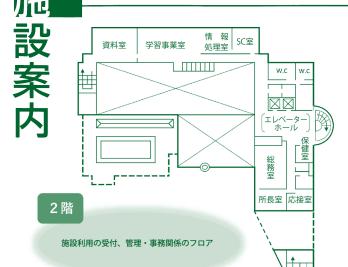
副主韓	育(兼) チ	<u>-</u> -LUJ-	ーダー	小八	松	幸	生
専	P	9	員	真	\boxplus	郁	朗
主			查	後	藤	優	美
主			事	加	藤	愛	梨
事	務	補	助	畠	Щ	万喜	雪子
事	務	補	助	佐	藤	千	

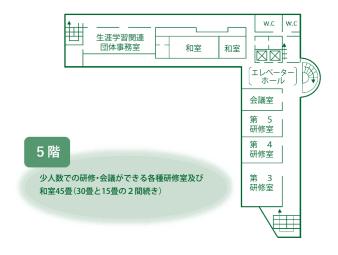
【学習事業チーム】

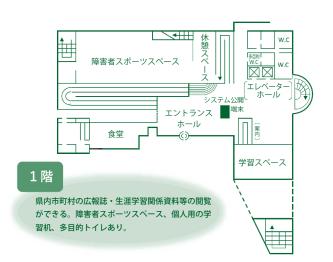
副主幹 (兼) チームリーダー	柏	木		睦
シニアエキスパート (社会教育主事)	瀧	澤	徳	彦
シニアエキスパート(社会教育主事補)	Ξ	浦		歩
社会教育主事	I	藤	伸	也
社会教育主事	岩	井		学
社会教育主事	布	施	久	典
社会教育主事	佐く	7木	克	巳
社会教育主事	和	泉	洋	介
社会教育主事補	岩	本	甲	大
学 習 相 談 員	皆]]]	雅	1_
学 習 相 談 員	八	柳	千個	宇
事 務 補 助	安	原	将	樹
シニアコーディネーター	北	条	常	久

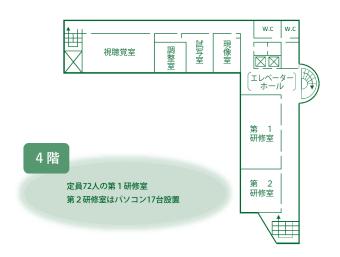
4,416m² 6,299.6m²

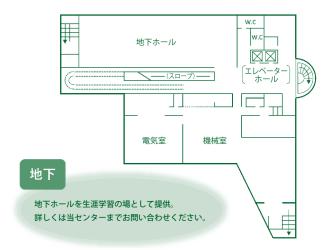
構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート造、 地下1階、地上5階

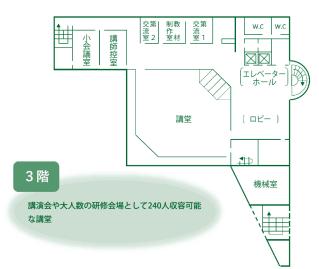












秋田県生涯学習センター

〒010-0955 秋田市山王中島町1-1

TEL: 018-865-1171 FAX: 018-824-1799

URL: https://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/ E-mail: sgcen002@mail2.pref.akita.jp

